

英語英文学研究所学術講演会

# コーパスから見えてくる英語 表現の豊かさと規則性について

—英語における名詞句を中心に—

**日時** 2017年12月16日(土)  
13:00~14:30

**会場** 土樋キャンパス 6号館 641教室

●申込不要・入場無料

英語には、「限定用法における形容詞は、接続する名詞を修飾する」という文法規則があります。形容詞は、その規則に従いながら、名詞との間に多様な修飾関係を構築し、物体や人の性質・状態（例：a tall person）のみならず、動作の様態（例：a quick sandwich）や、出来事のの在り方（例：an occasional coffee）、動作主の心情（例：a sad cigarette）などを表すことができます。

本講演では、コーパス（電子化された言語資料）からの実例の観察を通じて、英語の様々な構文に現れる、名詞句の豊かさと、その修飾関係に見られる規則性について考察します。また英語の名詞句に見られる修飾関係には、時代とともに衰退するもの、新たに創り出されるものがあることを示していきます。

**講師**

高知県立大学文化学部准教授

**金澤 俊吾**

【講師略歴】

1973年、青森県生まれ。2001年、東北大学大学院情報科学専攻修了、博士(情報科学)。岩手県立大学宮古短期大学部講師、准教授を経て、2010年より現職。専門は英語学。

【主な著作・論文】

「いわゆる転移修飾表現再考」(深谷輝彦・滝沢直宏(編)『コーパスと英文法・語法』英語コーパス研究シリーズ4、ひつじ書房、2015年)、「名詞句内の事象修飾に見られる意味的特徴について」(小川芳樹・長野明子・菊地朗(編)『コーパスからわかる言語変化・変異と言語理論』、開拓社、2016年)、「Walk one's way にみられる合成性と意味的特徴について」(『英語語法文法研究』19号、英語語法文法学会、2012年)など。

主催：東北学院大学 英語英文学研究所

問合せ先：東北学院大学 研究機関事務課 TEL 022-264-6401 FAX 022-264-6530